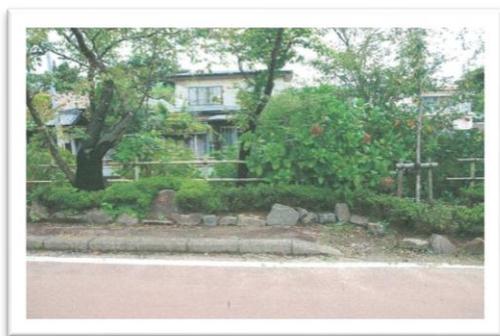


平成29年度白石市まちづくり交付金事業実績

平成29年度に採択された白石市まちづくり交付金事業18件の事業実績について報告します。

□沢端川周辺環境美化整備事業（沢端川の環境を守り鯉を育てる会）

環境美化および観光振興に寄与するため、多くの観光客が訪れる白石城や武家屋敷への散策路となっている沢端川周辺の木々の剪定など、環境整備を行いました。



▲沢端川沿いのサツキの寄せ植え



▲竹布掛け支柱の設置

□鷹巣第5公園緑化植栽事業（鷹巣自治会）

第5次白石市総合計画白石地区まちづくり宣言の実現に向けて、市の「城花町しろいし」事業に賛同し、鷹巣第5公園の緑化事業に取り組みました。取り組みを知った近くの中学生にも協力をもらい活動しました。



▲多くの方が参加して植栽しました



□国道113号鹿野地区花壇再生事業（上郡山自治会館運営委員会）

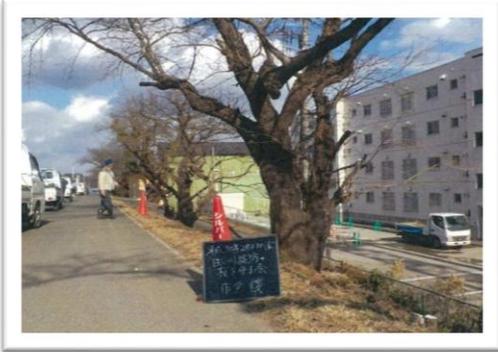
上郡山第一・第二自治会の住民相互の親睦をさらに深めるために、国道113号沿いの花壇に花を植栽し、平成29年度みやぎ花のあるまちコンクールで審査員特別賞を受賞しました。



▲子どもたちが多く参加し、最後まで真剣に植栽しました

□白石川堤防環境美化整備事業（白石川堤防の桜を守る）

古くから花見の名所として市民に親しまれている桜並木の環境整備のため、白石川周辺の桜の剪定、雑木の刈払いを行いました。



▲桜の枝を剪定



▲雑木の刈払い

□美化・健康づくり運動事業（越河カンナ花友の会）

地区内にカンナの花を植栽し、開花時期にPRし各地点を巡り歩いてもらうことで、環境美化の推進および地区民の健康増進を目指し活動しました。



▲カンナが満開の様子



▲植栽した花壇を活用したウォークラリー

□越河小学校花壇整備事業（このゆびとまれプロジェクト）

若者の地域事業への参加を促進するとともに、地域の絆を深めるために、越河小学校の花壇に植栽しました。



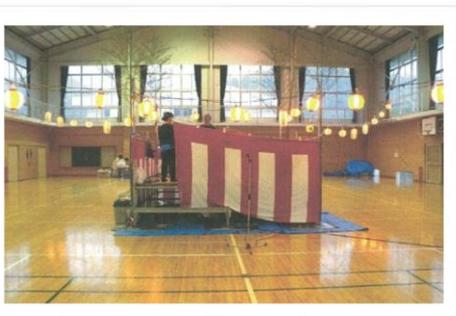
▲植栽の様子



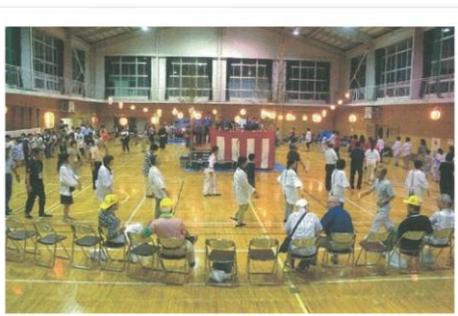
▲植栽後の水掛けの様子

□斎川夏まつり盆おどり大会（夏まつり実行委員会）

より一層の交流を図り、地域の活性化に繋げるため、高齢化により組立が困難になったやぐら組立や仮設電気配線工事に交付金を活用し、伝統ある夏まつりを開催しました。



▲組み立てられたやぐら



▲盆踊りを楽しむ参加者

□斎川地区活性化プロジェクト（斎川まちづくり協議会）

地区民が講師となり、ころ柿づくり体験会を開催しました。体験会には市内外から約100名が参加し、ころ柿づくりを楽しみました。



▲柿もぎを体験する参加者



▲真剣にころ柿づくりに挑戦する子どもたち

□旧奥州街道桜並木整備事業（斎川まちづくり協議会）

環境美化と斎川地区の活性を目指し、桜の名所として知られる田村神社周辺の桜並木の支障枝の伐採を行いました。



▲支障枝や病気の枝を剪定



▲整備によりきれいに開花した桜

□坂谷神楽備品整備事業（坂谷神楽保存会）

民俗文化財の坂谷神楽を継承するため、老朽化した太鼓の修繕および面などの神楽継承に必要な備品を購入しました。



▲修繕した太鼓も使用し、大平地区敬老会で神楽を披露



□神楽備品整備事業（榊流大町神楽継承会）

平成18年5月に白石市指定民俗文化財となった榊流大町神楽を継承するために、老朽化により修繕不能な太刀、鉾を購入しました。



▲購入した太刀、鉾



▲大坂城で披露

□白川夏まつり（仮装盆踊り大会）（白川振興会議）

地区民の交流を深め、地域の活性化に繋げるため、舞台組立工事費、音響設備レンタル料、出演者謝金等に交付金を充てて夏祭りを開催しました。



▲スイカ割りに挑戦する子ども



▲仮装して盆踊りを楽しむ参加者

□花と緑の地域づくり事業（上原自治会）

地区住民の交流を深め、地区内を花で癒す花と緑の地域づくりを推進するため、県道 254 号沿いの花壇や地区内の交差点などに花を植栽しました。



▲花壇やプランターに慣れた手つきで植栽する参加者



□地域内を花と緑で笑顔溢れる地域づくり（山根自治会）

地区内の環境整備と地区民同士の交流を深め笑顔溢れる地域にするため、花壇を整備し花を植栽しました。



▲会話を楽しみながら花壇整備を行いました



□あじさいロード整備事業（川原子あじさいを愛する会）

来場者の利便向上のため、あじさいロードの看板、駐車場の看板、矢印の看板などを製作し設置しました。



▲設置した案内看板



▲満開のあじさいロード

□深谷地区夏まつり大会（深谷夏まつり実行委員会）

地区民の融和と地区の活性化のため、舞台組立、仮設電気工事に交付金を充て、地域の人たちとの連携と協力により、地区民全員が参加できる夏まつりを開催しました。



▲神楽を披露する子ども



▲盆踊りを楽しむ参加者

□深谷笠松太鼓継承事業（深谷和太鼓・笠松組運営委員会）

和太鼓演奏を通じた地区の活性化や、「笠松太鼓」の伝統継承のため、必要な衣装備品、太鼓指導の講師謝金に交付金を充て、地区内の行事に出演し会場を盛り上げました。



▲練習成果を披露した深谷公民館まつり

□検断屋敷まつり（小原地区活性化推進協議会）

地域資源の材木岩公園と検断屋敷を活用し、交流人口の拡大を図るとともに、小原の自然景観や地場産品をPRするために、年4回の検断屋敷まつりを開催しました。



▲春の検断屋敷まつりのだるまおとし



▲夏の検断屋敷まつりの水中スイカ割り